

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	日本フィルハーモニー交響楽団

内容
<p>【音楽室探検ワークショップ】</p> <p>従来のワークショップ・プログラムでは、ヴァイオリン奏者と打楽器奏者の2名が出演し、最後に児童生徒が手拍子と声で演奏に参加することで、音楽の仕組みと楽しさを体感していただき、学校より大変好評をいただいております。</p> <p>しかし、現下のコロナ禍においては、児童生徒間は無論、演奏者との接触を避け、飛沫対策を講じる必要があり、音楽室の身近な打楽器を活用しつつも、参加型の内容をカットし、オーケストラの楽器の多様な音色に親しんでいただく内容も、選択肢として用意いたします(内容検討中)。</p> <p>日本フィルのヴァイオリン奏者、チェロ奏者、クラリネット奏者、打楽器奏者の4名が学校の音楽室を訪問し、身近な環境で音楽家や演奏を親しく感じて頂く機会を作るとともに、児童・生徒と一緒に学校の音楽室にある楽器の魅力を発見します。</p> <p>①ヴァイオリンとチェロとクラリネットによる楽器紹介とソロ演奏(打楽器伴奏付)</p> <p>②打楽器による楽器紹介とソロ演奏</p> <p>③アンサンブル(合奏)</p>

タイムスケジュール (標準)								
8	9	10	11	12	13	14	15	16
					学校 入り	練 習	開 演	終 演
*新型コロナウイルスの影響下で、授業時間に抵触しない放課後の音楽室での開催を基本としています。								

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
「音楽室発見」ワークショップ 合計 (6名) 指導者 (4名)、スタッフ (2名) *感染予防対策要員含む)

学校における事前指導

指導は特に必要ありません。事前に学校の楽器の種類・数などを教えていただきます。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	日本フィルハーモニー交響楽団

演目
<p>コロナ禍による感染予防のため、①演奏に影響無い範囲で弦楽器を6人減らします。また、②校歌の合唱も声を出さず、「心の中で歌う」ことも可能とします。更に以下の対策を講じます。</p> <p>③楽員と児童・生徒との接触の機会を減らす希望と、時間短縮の希望がある場合は、「指揮者体験コーナー」を割愛致します。</p> <p>【小学校】</p> <p>♪ロッシーニ:歌劇「ウィリアム・テル」序曲 より《スイス軍の行進》</p> <p>♪モーツァルト:歌劇「劇場支配人」序曲</p> <p>★楽器紹介(木管→金管→打楽器→弦楽器)</p> <p>♪チャイコフスキー:「弦楽セレナーデ」より《ワルツ》</p> <p>♪モンティ:チャルダッシュ</p> <p>♪ヨハン・シュトラウス2世:ポルカ「雷鳴と電光」</p> <p>♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番</p> <p>♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より《第1楽章》</p> <p>♪「ビリーブ」「さんぽ」など学校と協議してご希望の1曲をオーケストラと共演します。</p> <p>♪各学校校歌</p> <p style="text-align: right;">公演時間(67 分)</p> <p>【中学校】</p> <p>♪モーツァルト:歌劇「劇場支配人」序曲</p> <p>♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より《第1楽章》</p> <p>【Aプロ】</p> <p>♪カジノユキ編:オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」(ナレーション付き)</p> <p>【Bプロ】*Aプロ・Bプロは学校の希望を基に調整させていただきます。</p> <p>★楽器紹介(木管→金管→打楽器→弦楽器)</p> <p>♪チャイコフスキー:「弦楽セレナーデ」より《ワルツ》</p> <p>【A・Bプロ共通】</p> <p>♪モンティ:チャルダッシュ</p> <p>♪ヨハン・シュトラウス2世:ポルカ「雷鳴と電光」</p> <p>♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番</p> <p>♪ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」《第4楽章》</p> <p>♪学校校歌 もしくは ビリーブ</p>

公演時間(72 分)

④児童・生徒のディスタンスを取るため、以下の短縮プログラムで実施します。

【小学校プログラム】

♪ロッシーニ:歌劇「ウィリアム・テル」序曲 より《スイス軍の行進》

♪ヨハン・シュトラウス 2 世:ポルカ「雷鳴と電光」

♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番

♪ベートーヴェン:交響曲第 5 番「運命」より《第 1 楽章》

♪各学校校歌

公演時間(45 分)

【中学校プログラム】

♪ベートーヴェン:交響曲第 5 番「運命」より《第 1 楽章》

♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番

♪カジノユキ編:オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」(ナレーション付き)

♪ドヴォルザーク:交響曲第 9 番「新世界より」《第 4 楽章》

♪各学校校歌

公演時間(45 分)

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

感染予防対策で、弦楽器を 6 人減らします。消毒作業要員としてスタッフを 1 名増員します。

合計 (約 67 名)

出演者 (約 59 名)

スタッフ (約 8 名)

タイムスケジュール (標準)

8	9	10	11	12	13	14	15	16
スタッフ		楽員	練		開		終	退
入り		入り	習		演		演	出

実施校への協力依頼人員

公演当日、搬入開始時から搬出終了時まで、体育館内に 1 名、ご協力を頂けると助かります。

冬期の公演には必ず、体育館にストーブをご用意ください。よろしくお願ひいたします。

演目解説

♪ロッシーニ：「ウィリアム・テル序曲」より 《スイス軍の行進》（小学校のみ）

シラーが1804年に書いた戯曲を元に、1829年にロッシーニがオペラ『ウィリアム・テル』を作曲しました。今日ではその序曲のみがしばしば演奏されています。4つの部分からなり、第4部（終曲）「スイス軍の行進」はトランペット、ホルン、ティンパニによるファンファーレに導かれてギャロップ調の行進曲が始まります。曲は繰り返しを経て次第に高揚し、盛大なクライマックスで締めくくられます。小学校公演のオープニングに相応しい華やかで軽快な曲です。

♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番

ハンガリー舞曲とは、ブラームスがハンガリーのロマ（ジプシー）音楽を元に編曲した楽曲で、元は4手ピアノ（連弾）用として作られましたが、のちに管弦楽版に再編曲されています。第5番が一番有名で、舞曲ならではのリズム変化が特徴です。

♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より《第1楽章》

冒頭の「ダダダダーン」で有名な交響曲第5番は、日本では「運命」の名で親しまれており、まさにクラシック音楽の代名詞と言っても過言ではありません。ベートーヴェンはこの曲を作曲した当時は難聴でほとんど耳が聞こえないという絶望的な状態でした。冒頭の旋律の意味を弟子に尋ねられて、彼は「運命の扉をたたく音」だ。と言った逸話は有名です。その難聴を乗り越えて作曲し、第1楽章の苦しみを乗り越えて第4楽章へと繋がってゆくという構成になっており、その「第1楽章」を聴いていただきます。

♪ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」より《第4楽章》（中学校のみ）

チェコの作曲家ドヴォルザークが作曲した交響曲で、最も人気のある曲です。アメリカ滞在中に聞いた音楽と、故郷ボヘミアの自然や「民衆の声」といった民族的な旋律を融合させ造られました。ドヴォルザークらしい歌心が随所に散りばめられています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

本編中は要所にトークを入れ、音楽をリードしながら進めます。退屈せずまた十分にオーケストラの音を味わえる内容になっています。

クラシック音楽を身近に感じて、「私も指揮者になりたい！オーケストラ奏者になりたい！」と思う一方、「今度はホールに出かけて行って演奏会を聴いてみたい！」と、次の段階のアクションに進んでもらえるよう制作しています。

全校で最も歌唱機会の多い校歌を、フル・オーケストラの伴奏でロずさんでいただきます。

体育館では、子どもと同じ目線にステージを設営し、見やすく、聴きやすいように配慮いたします。

児童生徒とのふれあい

新型コロナウイルスの影響下につき、残念ですが児童生徒さんとは、極力接触を避ける予定です。